

第9回北上市史編さん委員会（要旨）

日時：令和2年3月10日（火）午前10時～11時55分

場所：北上市役所 庁議室

出席者

委員：7名

事務局

次第

1 開会

2 あいさつ 及川委員長

3 報告

（1）専門委員会の決定事項

① 章立ての階層構成を「部・章・節」を基本とし、編は使わない。

② ルビは章・節の最初に振ることを基本とし、ルビの対象は部会ごとに判断する。

<質問等>

・ルビは章または節の初めにふるということか？

←そうなる。初めにルビを振り、基本的に繰り返しはしない。

③ 指定文化財の掲載について、各部会で検討する。

<質問等>

・石灰華ドームは国指定だが、昔の写真であれの上で温泉に入っている写真を見たことがある。どのように形成され湧泉がどこにあるのか興味がある。調査できれば少しでも記述があるといい。

←現在あの場所は、前の川に土砂が流れ込み立ち入り禁止になっている。

（2）進捗状況について

<質問等>

・中世と近世の時代分けの調整はとれているか。

←専門委員会で部会長による調整済み。多少の重なる部分はあるが。和賀氏関係資料は中世に入れる予定で調整している。

4 協議

（1）市史通巻の付番について

○全巻通しての付番はせず、各編に時代順で付番する。

<質問等>

・巻数が多ければ付番による管理は必要かもしれないが、全10冊であり不要と思う。

- ・資料編、通史編で付番してはどうか。

(2) 目次案について

○出された意見を専門委員会及び各部に伝える。

<質問等>

- ・ P17 現代班の3・4部は書ききれぬか心配だ。現在進行形のものには評価に時間を要すると思う。
- ・ 執筆者のニーズで構成されたものと思うが、北上市史の趣旨を理解して進めてもらいたい。民俗は記憶のなかのものをまとめてもらうが、昔あったもの並べるだけでなく現在の市民生活と繋がるような内容にしてもらいたい。
- ・ P15 近代の第2部2章2節で「和賀鉱業会」が取り上げられているが、近代の黒沢尻町の経済活動の基盤となっているものである。深掘りし資料もきちんとしたものをそろえることが大事である。
- ・ 北上の近代史では交通網の発達が重要となれば、地方道に関する資料が役所に文書として残っているはずなので、各種街道が整備されていく経緯を資料として取り上げ、深掘りした記述も可能になると思う。
- ・ P16 の第4部3章4節の「陸軍岩手飛行場」は「岩手陸軍飛行場」と記憶しているが？
←確認する。

(3) 特別編「自然」の原稿について

○基本的に提出された原稿内容とし、指摘事項は伝えることとした。

<質問等>

- ・ P93 と P99 に石灰華ドームの写真がある。国の天然記念物であるこれがどのように形成されたかが大事なこと。上に源泉分布図があるが、これらとどのように関連があるのかが知りたい。
- ・ 河川水の汚れとその原因や解消なども夏油川などを例に挙げ、地質と水などの関連も解説してほしい。
- ・ 北上平野の形成と人々の生活がどのように関わりについて触れてほしい。
- ・ 地学の大学の教科書のように概論的と感じた。事務局が客観的に読んでわからない部分は削除していいのではないか。
- ・ 執筆する人は、その辺も悩んだのではないか。執筆者のニーズに任せてはいいのではないか。
- ・ 大石先生は細かすぎると迷っていたのではないか？
←市史として後世に残していくものなので、しっかりとした視点で書くという考えで執筆されたようです。
- ・ 哺乳類の動物の写真で、雪の中を歩くツキノワグマの写真は分かりにくい。これは例だが写真は工夫が必要と感じた。分野によっては図解を併せて掲載すればわかりやすく親切と思う。特に貝の模様など。

・ P98に「綱取の大露頭」の写真があり、また、気候と気象に北上の気温が2度上昇したとの記述があり、草で覆われた「綱取の大露頭」を地球温暖化と絡めて書いてはどうか。気温上昇も市民生活と絡めたことに触れてあると自分たちの生活と関わっていると思える。

・ 写真は白黒のままか？

←印刷はカラーになる。

・ 引用文献は最後に掲載され、文中にも記述があるが読みにくいと感じる。

←論文形式の記述なので、執筆者により書き方に違いがある。

・ 難しく感じる原稿もあるが、事実を正しく伝えるためにこのままでいいのではないか。書き直す必要もないと思う。

・ 昆虫の原稿で事実を書いている部分に、少しずつ抒情的な記述が散見する。省いていいのではないか。

・ 魚類の部分で、魚の種類に関する記述はあるが、水質の変化など環境変化に絡めた記述が無いようだ。そのような部分があればこそ市民生活に密接に関わってくる。

・ 分野別に原稿を書くだけでなく、関係性を持たせた記述を期待する。

・ 「はじめに」「おわりに」は市史になじまないのではないか。論文調に感じる。

(4) その他

①市史のデザインについて

○八戸市の例にならったデザインとし、これから提案されたデザインを検討していく。

<質問等>

・ 落ち着いたデザインを希望する。

・ シンプルなデザインがいい。

②収集した資料の発刊後の取り扱いについて

○将来的に市史のコーナーやスペースのような形で、資料をオープンに見てもらえるようにしていく。

5 その他

○次回は5～6月の開会を予定している。